



JA うつのみやと JA 共済連栃木が宇都宮白楊高校に管理機を寄贈



高野校長(右)に目録を手渡す佐藤組合長(中央)と
田村本部長

地元農業高校に農機寄贈 農業実習用機械寄贈式



JA

うつのみやとJA共済連栃木
は9月21日、宇都宮白楊高校
に農業実習用機械を寄贈しました。

寄贈式ではJAうつのみやの佐藤
俊伸組合長とJA共済連栃木の田
村登志郎本部長が同校の高野寿映
校長に目録を手渡しました。

今回の寄贈は、農業者が減少す
る中で地域における次世代の農
業者の育成に貢献するためにな
施。同校には管理機を寄贈しました。
同校には7つの学科があり、農業系
の学科以外でも授業の中で作物を
栽培しています。

佐藤組合長は「農業最大の問題
は担い手不足。農業を専門的に学
ぶ生徒の皆さんには、担い手として、
また食・農の応援団としての役割
に期待している。管理機を栽培に
役立てていただき、学習の一助に
なればと思う」とあいさつしました。
田村本部長は「生徒たちの「農
業を通して地域に貢献したい」と
いう思いの実現に向けて存分にご
活用いただきたい」と話しました。

HOT NEWS!

品目ごとに新規就農希望者を支援 品目別講習会

初めて開催された品目別講習会



JAは9月1日、南部農業経済センターで品目別講習会を初めて開きました。就農希望者やJAの営農相談員、コーワークの担当者ら11人が参加。JAの営農相談員と同社の担当者が講師を務めました。

講習会はイチゴやアスパラガス、梨、露地野菜について、各品目の初期投資の試算や栽培工程などを説明し、就農に向けて品目の知識を深めてもらうことが目的です。

講習会を企画した同センター営農相談員の松原悠二主査は「就農に興味のある人が、就農に向けて動こうと思ってくれればと考えて開いた。今後も就農希望者向けのさまざまな講習を行っていきたい」と語りました。



品質向上に向けて栽培講習会 JA胡瓜専門部

JA 胡瓜専門部は9月11日、越冬作型栽培講習会を開き、部員や関係機関の担当者ら20人が参加しました。

講習会では種苗会社の担当者が栽培管理について説明。厳寒期は質の良い葉を維持することが重要だとした上で、採光と温度管理の両立について重点的に説明しました。また、県下都賀農業振興事務所の担当者が病害虫防除を中心に説明し、ベト病や菌核病について、草勢の維持やローテーション散布などの対策を呼び掛けました。少雨により発生が増加しているコナジラミなどの害虫については、薬剤散布の他、次作に持ち越さないため高温での蒸し込みなどの対策を行うよう注意を促しました。



担当者の話を聞く参加者



「新高」「甘太」出荷に向け目ぞろえ会 JA梨専門部

目ぞろえをする参加者



JA 梨専門部は9月11、12日の2日間、梨「新高」「甘太」の本格出荷を前に、宇都宮市内の各会場で4支部ごとに目ぞろえ会を開きました。部員や関係機関の担当者ら合計約100人が参加しました。協議事項では出荷規格を確認。収穫時のカラーチャートを統一することや、傷害果を出荷しないことなどを申し合わせました。また、県河内農業振興事務所の担当者が生育状況などを説明。「新高」は少雨・高温の年にみつ症が発生しやすいため、目合わせの徹底やカラーチャートの厳守を呼び掛けました。「甘太」は果皮色の変化が少なく外観から収穫適期を判断しづらいため、取り遅れによる果肉の軟化に注意が必要であることを説明しました。目ぞろえでは現物を使って色や形状を確認しました。



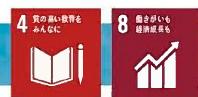
農業融資専任担当者を目指して 融資業務トレーニー中間報告会

農 林中央金庫宇都宮支店は9月13日、JA本所で融資業務トレーニー中間報告会を開き、JAの役職員や同支店の担当者15人が参加しました。

JAは融資の専任担当者を育成するため、2019年から職員1人を同支店に派遣しています。本年度は金融部の大塩恵里さんが、1年間の研修を受けています。大塩さんは、9月まで同支店推進企画班に配属。農業融資知識の習得や人脈構築などを図るため、これまでの経歴を踏まえた4つの目標を設定。積極的に研修会や会議に参加したり、同行訪問したりしました。10月からは同支店食農ビジネス班に配属され、申告書・決算書の見方などを学びます。



発表する大塩トレーニー



イチゴの栽培作業を体験 新入職員農業研修



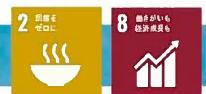
定植作業をする新入職員



JAは8月29日と9月15日の2日間、子会社であるJAアグリうつのみやのほ場で新入職員農業研修を行い、2023年度新入職員25人が参加しました。

研修は農業体験を通じて農業への理解を深め、職員としての視野を広げることを目的に2012年から実施しています。今回の研修では、イチゴのランナー処理作業と定植作業を2日間に分けて行いました。同社の担当者から説明を受けた参加者は、協力しながら丁寧に作業を行いました。

研修に参加した新入職員は「中腰での定植作業が大変だった。農作業への理解が深まった」と話しました。



就農希望者が定植作業を体験 イチゴ農作業体験

定植作業をする参加者

JAは9月16日、宇都宮市の半田悦久さんのは場で第2回イチゴ農作業体験会を開きました。就農希望者やJAの担当者ら9人が参加しました。同体験会は就農予定者や就農に興味を持つ人に向けた取り組みで、実際の生産者に話を聞いたり農作業体験を行ったりすることで、農業への理解を深めてもらうことが目的です。

今回は参加者が半田さんのハウスでイチゴの定植作業を体験。生産者やJAの担当者に苗を植える向きや間隔などについてアドバイスを受けながら、ハウス1棟分の苗を植えました。農作業体験後の質疑応答では、参加者が苗植え後の管理やハウスの設備について積極的に質問していました。



本格出荷に向け「にっこり」目ぞろえ会 JA梨専門部

目ぞろえをする参加者



JA梨専門部は9月21、22日の2日間、梨「にっこり」の本格出荷を前に、宇都宮市内の各会場で4支部ごと目ぞろえ会を開きました。部員や関係機関の担当者ら合計約100人が参加しました。協議事項では収穫時のカラーチャート4.0以内を厳守し、目標糖度を13度とすることなどを申し合わせました。

県河内農業振興事務所の担当者が果肉障害について説明し、樹勢の弱い樹や日当たりの多い部分ではみつ症が発生しやすいため、注意して確認するよう呼び掛けました。またJAの半田睦夫技術顧問が着色異常やみつ症について説明。果皮が茶色がっているものがある場合には、数個切って内部を確認するよう呼び掛けました。目ぞろえでは現物を使ってカラーチャートや形状を確認しました。



次年度に向け品種検討 JAバラ専門部

品種ごとの特性を聞く参加者

JAバラ専門部は9月21日、東部選果場で品種検討会を開き、部員や関係機関の担当者ら約15人が参加しました。

石川遼太郎専門部長は「今回は品種検討会ということで、次年度の植え替えの参考になればと思う」とあいさつしました。

検討会では種苗会社のイノチオ精興園（株）、国枝バラ園、京成バラ園、ROSETIQUE JAPANの担当者がそれぞれバラの品種を紹介。実際のバラを使い、生産性や花もち、香りの強さ、耐病性など品種ごとの特性について紹介しました。参加者はメモを取りながら熱心に説明を聞いていました。

品種検討会後は品質向上を目的に情報交換を行いました。





管内農産物を PR した
JA うつのみやフェア



JAうつのみやフェアで 管内農産物をPR(9月1~4日)

JAIは宇都宮市の福田屋百貨店2店舗で、管内産農産物を特別ブースで販売しました。また、梨の試食宣伝とノベルティ配布も行いました。



カミナリ祭りで 管内農産物をPR(9月17日)

「カミナリ祭り～しびれるような
とちぎの魅力～」が宇都宮駅東口の
ライトキューブ宇都宮で開かれ、
JAIは管内産農産物のPRを行いました。



管内農産物を PR したカミナリ祭り

選手宣誓をする参加者



第17回JAうつのみや年金友の会 グラウンド・ゴルフ大会開催(9月20日)

JAうつのみや年金受給者友の会は屋板運動場で
「第17回JAうつのみや年金友の会グラウンド・
ゴルフ大会」を開催し、同会会員112人が参加しました。
上位27人は11月に開催予定の「第25回栃木県年金受給者友の会
グラウンド・ゴルフ大会」に参加します。

ブグランンド・ゴルフを
プレーする参加者





番組に出演した中山調査役(左)と川上さん(右)



宇都宮コミュニティFMミヤラジ 環境番組「エコミヤ」に出演(9月20日)

JA資金運用課の中山貴広調査役と川上大貴さんが、宇都宮コミュニティFMミヤラジの環境番組「エコミヤ」に出演しました。番組では環境配慮やエコをテーマに、JAの融資面での取り組みについて話しました。



みどり会平石支部が 調理ボランティア(9月25日)

JA女性組織みどり会平石支部は、昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。参加した南木幸子支部長は「おすすめは肉団子スープ。子どもたち用に味付けを調整しました」と話しました。



机に並ぶ今回のメニュー



調理する南木支部長(左)と会員



折り紙教室に参加した会員と講師



あじさい会富屋支部が 折り紙教室を開催(9月29日)

JA女性組織あじさい会富屋支部は、北部支所で折り紙教室を開きました。同支部会員16人が参加し、「花火」をテーマに作品を制作しました。



地元産農産物を販売



JAがうつのみや 食育フェアに出展(10月1日)

JAIは宇都宮城址公園で開催された「第18回うつのみや食育フェア」に出演しました。「みやおとめ」と「とちぎの星」の食べ比べ試食を実施した他、梨やトマトを販売しました。また、ステージでトマトの栽培や生産状況を解説し、JAうつのみや産トマトのPRを行いました。



ステージでトマトについて解説する職員

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

麦

雑草防除

播種後、速やかに全面土壤処理を行い、その後は雑草の発生状況により生育期処理を行いましょう。

また、近年カラスムギの発生が著しいほ場が見られます。収穫時に混入した場合、選別機で完全除去することは不可能です。生育中の発生に注意しましょう。



ほ場に発生したカラスムギ



ほ場周囲の排水溝

排水溝の確認

ほ場周囲に設置した排水溝が、その機能を発揮できるよう定期的に点検を行い、必要に応じて溝さらいなどを実施しましょう。



麦踏みの様子

国産麦のニーズ

近年消費者の安全・安心志向の高まりや地産地消の推進から、国産麦の製品が増加しており、国産麦に対するニーズが高くなっています。麦の栽培にあたっては次の表1を目標とし、高品質の麦を生産しましょう。

麦踏み

麦踏みは、地上部の過剰生育を抑制しながら、分けつを旺盛にし、根張りを深くするとともに、耐寒性を増大させる効果があります。

麦踏みは年内に1～2回、葉が3枚見えるころから実施します。年明以降は茎立期（3月上旬）直前までに2回程度実施しましょう。



水稻



水稻作付品種を

変更するときの注意点

来年度にコシヒカリからあさひの夢など作付品種の変更を検討している場合は、今年の収穫時にほ場に落ちた穂が、翌年成長して収穫物に混ざり

「異品種混入」と指摘される可能性があります。

漏生稻の発生を防ぐためには、

① 収穫後速やかに耕起し発芽を促し、冬の寒さで枯死させるほか、腐熟させて発芽能力を失わせる。

② 春には早めの荒代かきを行い、発芽を促し植代で鋤きこむ。

などの作業が必要です。

表1

ビール大麦の品質目標	
①上位等級(1, 2等)での出荷	98%以上
②発芽勢	98%以上
③水分	12.0%以下
④タンパク質含有率	10.0%～11.0%
⑤整粒歩合(2.5mm篩)	95%以上
小麦の品質目標	
○日本めん用(さとのそら)	
①容積重	840g/l以上
②タンパク質含有率	9.5%～10.5%
③水分	12.5%以下
○パン・中華麺用(ゆめかおり)	
①容積重	833g/l以上
②タンパク質含有率	13%以上
③水分	12.5%以下



稜葉枯病による再生稻の黄化
生育初期の発病：ゆうれい症状



生育初期の発病：
出すぐみ
(県農業環境指導センター)



『青壯年の記』 ～Youth & Middle～

ユース & ミドル

清原支部

原支部は現在盟友44人で活動しており、後継者不足が叫ばれる中でも、若手への世代交代により盟友数が維持・増加しています。

例年、地区の農業祭に参加しており、今年は8月末のLRT開業のお祭りに参加しました。清原地区で生産が盛んな梨やリンゴなどの果実や焼きそばを販売し、たくさんの方々に食のPRを行いました。

今年度はこれまでの活動が再びできるようになるので、盟友との交流を深めながら農業振興活動に尽力していきたいと思います。

平石支部

石支部では、小学校のサツマイモほ場の準備と管理を行っています。6月の上旬にうね上げとマルチ張りを行い、その後子どもたちが苗を植えます。秋時期にはつる切り作業も行います。この活動を通して地域と交流を図っています。

また、これまで冬季に視察研修として、県外の農機メーカーや市場などを見学し若手農業者としての知識を深め、自身の農業経営につなげる取り組みを行ってきました。今年は普段の活動が少しずつできるようになってきたので、積極的に活動を実施していきます。



昨年度のサツマイモほ場準備・管理を行っている盟友



昨年度のサツマイモほ場準備・管理の様子



昨年度の農業祭に参加した盟友



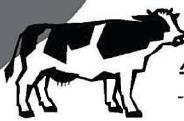
LRT開業のお祭り出品ブース



支部交流会の様子

6月に支部交流会を開催しました。長引いたコロナ禍で組織間の交流が低迷していましたが、全支部からたくさんの盟友が集まりました。支部活動や今後の青壮年部の在り方について意見を交わしながら、支部・盟友同士の親睦を深めることができました。

意見交換では、農産物PRの強化や交流イベントの拡大など、青壮年部を通して地域農業を盛り上げることができるような案がいくつも挙がりました。今後、視察研修会の開催などを予定しており、農業者の交流の輪を広げながら活動を展開していきます。



牛乳をもっと食卓に

おいしいミルクレシピ

鶏とハクサイのホワイトサラダ

牛乳のカルシウムで生活習慣病予防!



出典●Jミルクウェブサイト「ミルクレシピ」

材料(4人分)

鶏モモ肉	1枚
塩	小さじ1/2
酒	大さじ2
リンゴ	1/2個
ハクサイ	100g
絹ごし豆腐	1/2丁(150g)
牛乳	90ml
オリーブ油	大さじ1
塩	小さじ1/4
こしょう	少々
ニンニク(すりおろし)	少々
粉チーズ	大さじ3
クルミ	3、4粒

A

作り方

- 鶏モモ肉は塩を擦り込み、10分ほど置く。鍋に多めの湯を沸かして酒を加え、鶏モモ肉を入れて10分ほどゆでる。そのまま冷まし、取り出したら食べやすい大きさに切る。
- リンゴは塩(分量外)を振ってこすり洗いし、皮付きのまま千切りにする。ハクサイは葉の部分をざく切りにし、軸の部分は3、4cmの長さに切ってから縦に5mm幅に切る。
- 豆腐は紙タオルで包んで軽く重しをのせ、水切りをする。さらに裏ごしをしてボウルに入れ、Aを加えて混ぜる。
- 器に①と②を盛り、③をかけて粗く碎いたクルミを散らす。

今月の直売所情報

JAグリーンインターパークの11月のお薦め品

焼き芋の販売が始まります。(開始時期の詳細は店舗にご確認ください)



JAうつのみや直売所 ウインターセール 11/25(土)~12月末

年末食材や漬物の素などをお買い得価格で販売します。(詳細は16ページ)

JAグリーンインターパーク 臨時休業のお知らせ

11/15(水)は販売システム入れ替えのため臨時休業となります。
※11/14(火)は定休、15(水)は臨時休業。

お米の特売日

JAグリーンインターパーク
毎月第3日曜日(11/19)



JAグリーンかみかわち
毎月8の付く日(11/8, 18, 28)

特売
南河内
グリーンセンター
11/17(金)~19(日)は
特売デー

南河内グリーンセンター 生産者さん募集中!!

詳しくは
上三川営農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課(南河内)坂入・大川まで

上河内宮農 経済センター

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



白沢彫刻屋台祭り



白沢では白髭神社例大祭の付け祭り「白沢彫刻屋台祭り」が5年に一度開催されます。宇都宮市指定文化財の彫刻屋台が2台巡行され、地域から多くの人が参加します。

写真はそのうちの1台である「白沢（上組）彫刻屋台」です。明治初期に鹿沼から購入したと伝わる黒漆塗彩色彫刻屋台で、形式は宇都宮形のものです。鬼板（屋根両頂上端の彫物）と懸魚（鬼板の下の屋根彫物）は獅子と牡丹で、牡丹は棟上では見事な籠彫りになっており、正面柱は右に昇り龍、左に降り龍が彫られ、高欄下にも龍が彫られています。

脇障子や欄間は花鳥彫りで、12枚の障子下部にはそれぞれに干支の動物が彫り込んであります。

最大の特徴は、「龍」と「獅子」の全部の目に、当時としては大変珍しい「ガラス玉」を使用しているところです。



各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所 028-622-6111	河内支所	028-673-3135
平石支所 028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所 028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所 028-652-0711	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
北部支所 028-665-0003	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所 028-667-0151	上三川営農経済センター	0285-55-1511
姿川支所 028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

キャッシングカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-08-2065

夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120-258-931

J.A.葬祭(24時間受付)

アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

LPGガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085